

1 事業概要

		課名	福祉課	事業No.	128
		会計	一般会計		
事務事業名		障害児支援事業	事業区分	政策	実施区分
			開始	H24	終了
				継続	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			第1期飯田市障がい児福祉計画	
	法令・例規等			児童福祉法	
事業目的		対象	障がいのある子ども		
		意図	ライフステージに応じた切れ目の無い支援		

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・障がい児や発達の遅れが認められる児童等に対して、身近な地域での早期療育を進めるため、その状況に応じたサービス等利用計画に基づき、児童福祉法で規定する障害児通所支援サービス費を給付しました。 ・「第1期飯田市障がい児福祉計画」において体制整備を目標とした「医療的ケア児等支援連携推進会議」を南信州広域連合地域自立支援協議会内に設置しました。今後、医療的ケアが必要な障がい児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療、教育、保育、保健、福祉、行政等の関係機関による連携を図り、課題解決に取り組んでいきます。		児童発達支援給付費				59,433	
			放課後等デイサービス給付費				292,396	
			サービス等利用計画作成給付費				8,095	
			保育所等訪問支援給付費				585	
		その他の経費				3,448		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	児童発達支援利用児童	人	59	32	45			
	放課後等デイサービス利用児童	人	205	209	245			
	保育所等訪問支援	人	3	9	14			
30年度 決算 (千円)	予算額	384,923	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	363,957	(国) 障害児施設措置費等負担金 (1/2)					
	財源の 状況	国庫支出金	180,884	(県) 障害児通所給付費等負担金 (1/4)				
		県支出金	90,127					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	92,946							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	9	10	1	384,923	363,957	障害児通所支援費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・療育を必要とする児童等の保護者に対して、適切かつ必要な障がい児通所（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）の給付を行いました。 ・年々増加傾向にある障がい児のニーズに対するサービスの給付について、継続的な制度の運営が図られるよう適正な支給決定を行うことが重要です。							
上記の課題解決のための有効策		・適正なサービス給付を行うためには、相談支援の充実を図ることが重要であり、障がい児や保護者等の状況を十分に把握し、その意向を充分にこみ取ったうえで、必要な療育によりその児童等の最大限の利益が図られるよう、適切なサービス利用計画等の作成が必要となります。							
次年度に向けての取り組み		・南信州広域連合地域自立支援協議会と連携し、地域全体としての相談支援の充実・向上に取り組みます。 ・障がい児が地域において自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員等が立案したサービス利用計画等に基づき、真に必要なサービスを提供していきます。							